

国際公務員、国家公務員、地方公務員や医療・介護従事者、  
大学や学校・保育園・幼稚園の先生など、「公務員」「公の仕事」を目指すには

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 将来、「公務員」などの「公(おおやけ)の仕事」に就(つ)きたいのですが、どうすればよいのですか。

A (1)「公務員」や「公の仕事」に就きたいのですか。それは「世の中のために働く」ことですので、素晴らしいことだと考えます。本当に素晴らしいです。

(2)「公の仕事」には、「公務員」のほかにもたくさんの仕事があります。「公務員」にも、国家公務員や地方公務員のほかに、国際機関で働く国際公務員や、裁判官や検察官など司法関係の公務員などたくさんあります。「公の仕事」には、国会議員、地方議会議員、都道府県知事、市町村長などの政治家も含まれます。「公の仕事」にはどんなものがあるかをよく調べ、考えてみましょう。

(3)「公務員の仕事」や「公の仕事」に就くには、「公共」とは何か、「公の人」とは何かを中学校や高校の授業でしっかり学ぶことが第一です。



Q 中学校や高校のどのような科目が、「公共」や「公の人」に直接の関係があるのですか。

- A (1)中学校3年生で学ぶ「公民」  
(2)高校1年生で学ぶ「現代社会」(2022年から「公共」となります)  
(3)高校2年生で学ぶ「倫理」  
(4)高校3年生で学ぶ「政治経済」

\*いずれも社会科です。この4科目を、「公務員」になりたい人や「公の仕事」に就きたい人はしっかり学ぶことです。

**公民 現代社会 倫理 政治経済**

Q この社会科の4科目を、どのように学べばよいのですか。

A (1)まずは、学校から教科書をいただいたその日から、学校で先生の授業をお聞きするようになつもりで、一語、一語ていねいにお読みになることです。

(2)次に、学校で使用する「資料集」があれば、「教科書」といっしょに、一語、一語ていねいにお読みになることです。

(3)そして、現実の社会はどうなっているのかを知るために、新聞を毎日30分以上ていねいにお読みになることです。特に、自分の就きたい「公務員の仕事」や「公の仕事」について

の新聞記事を切り抜き、スクラップブックをお作りになることです。

\*これが、「公務員の仕事」や「公の仕事」に就きたい人の学校時代の勉強の仕方です。

\*その仕事をする上で必ず求められる教科やスキルもしっかり身に付けておくこと、もちろんです。

Q 参考となる本や映画、テレビ番組はありますか。

A (1)内村鑑三先生の「後世への最大遺物、デンマーク国の話」と「代表的日本人」の2冊、いずれも岩波文庫です。講演会の速記録なので、ゆっくりお読みになれば中学生でもわかります。

(2)参考となる映画は、黒澤明監督の「生きる」です。名作です。

(3)NHKのテレビ番組「NHKスペシャル」も参考になります。

Q 高校を卒業したらどうすればよいのですか。

A (1)高校卒業で就ける「公務員」や「公の仕事」もありますが、大学卒業が求められる「公務員」や「公の仕事」もあります。国際公務員には大学院修士課程・博士課程修了が必要なものも多いようです。



(2)それぞれの学校でしっかり勉強して卒業し、採用試験に合格する必要があります。

(3)国家試験や資格試験が必要な場合には、合格のための勉強が必要です。

\*その仕事に就くために、どのような学校に進学をし、どのような試験を受けたらよいか。中学生、高校生のうちからよく調べ、考えておくことです。

Q 最後に一言どうぞ。

A (1)遠慮しないで、職場見学にどんどん行き、実際にどのような仕事なのかをじっくり学びましょう。見学会などがあれば積極的に参加し、そこで働いている人とお話をするのもよい勉強になります。

(2)保護者の皆様や学校の先生と相談し、「インターンシップ」をさせていただくことも大いにお奨めします。

(3)自分の進路・キャリアは自分で考え、自分で決定し、自分で切り開く。自己責任、自助努力が欠かせません。では、頑張ってくださいね。

\*開倫塾ニュース 2021年4月号(387号)巻頭言の内容です。

